

平成30年度 第1回 山縣市総合教育会議 議事録

1 開催日時

平成30年5月15日（火曜日） 午前9時10分～午前9時50分

2 開催場所

山縣市役所 3階 303会議室

3 出席者

市長 林 宏優

教育長 伊藤 正夫

教育委員会委員 川田 八重子 江崎 由里香

大野 良輔 千葉 純

4 欠席者

なし

5 事務局等の出席者

学校教育課長 鬼頭 立城

生涯学習課長 土井 義弘

図書館・文化の里館長 山田 和哉

中央公民館長 堀 邦利

学校教育課 恩田 拓充 衣笠 みつ美

6 協議事項

(1) 学校教育課及び生涯学習課の実施事業等について

(2) その他

7 会議の概要

(午前9時10分開会)

事務局恩田 本日はお忙しい中ご参集いただきありがとうございます。

これより平成30年度第1回山県市総合教育会議を開会させていただきます。
開会にあたり、市長からご挨拶申し上げます。

市長 あらためまして、おはようございます。

この総合教育会議は、平成27年度に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正が行われまして、首長と教育委員会との意思疎通を図る目的で設置されたものでございます。今回本年度第1回目の会議でございますので、よろしく申し上げます。2週間ほど前に飛騨市の市長とお話しする機会がありまして、県などはここ数年の間に教育委員会所管の事務を知事部局に移すという組織替えを行っておりますが、飛騨市も半年ぐらい前から、教育委員会所管事務の生涯学習に関わる部分の決裁を市長まであげるようにしたとのことです。学校教育に関わる部分は、教育委員会の方で行われていますが、生涯学習に関わる部分は、市の中の動きと大きく関わっている部分があるので、その動きを把握したいということでそのようにされたとのことです。今のところ私は教育委員会の各種行事にも参加させていただいておりますので、そのようなことは考えてはおりませんが、今後教育委員会と市長部局との合議や調整が必要ということがあれば、検討する課題の一つとしていただければと思います。ここ最近子供を取り巻く環境が変わりまして、昔は地域の大人の中で、もまれて成長するということがありましたが、今はそういうことが希薄になっているように感じます。今朝、伊自良南小学校でPepperくんを使ったあいさつ運動を視察してきましたが、私たちの小さい頃はプログラムというか物を作って形あるものにしたのですが、今はプログラムを仕組んでそれを言葉として発するというので、世の中が変わって来ているということを実感しました。昔に比べれば生活の豊かさは享受していると思いますが、心の豊かさはというものが、子供たちに伝わっているのかという思いもあります。いずれにしましても委員の皆様のお力を借り、市民の皆様のために、それぞれの立場でメッセージを発しながら山県市の教育行政を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局恩田 ありがとうございます。

それではお手元の次第にそって協議事項に入りたいと思います。
市長の議事進行によって進めさせていただきます。市長、お願いいたします。

市長 それでは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第3項に、
総合教育会議は、地方公共団体の長が招集するとなっておりますので、私に
おいて議事を進めさせていただきます。

協議事項、(1)としまして学校教育課及び生涯学習課の実施事業等につい
て、事務局からの説明の後に、皆様からのご意見ご質問を承り、自由な意見
交換を行いたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

まず学校教育課の方から説明願います。

学校教育課長 それでは、次第の次のページとなりますが、平成30年度山県市学校教育
の指針の具現化を目指し特色ある教育活動を展開する山県市小中学校指定
事業等一覧がございます。現在の課題といたしましては、平成32、33年
度完全実施となります新学習指導要領への現在は移行期間でございまして、
より効率的、効果的に、どの学校も新学習指導要領の趣旨に応じた、若しく
は学力向上も含めて推進ができ、全体的な底上げができるように、各学校の
特色や人的、物的な教育資源を生かしながら、学校と教育委員会の願いや構
想を含めまして、このように指定校と推進校を決めさせていただきました。
それぞれの学校の研究内容等が、今後の完全実施に向けて全学校に周知徹底
していけるように、まずは指定校、推進校において進めているところでござ
います。

詳しく説明しますと伊自良地区では、小中連携強化推進校というものを3
校で結んでおりまして、本年度は小学校の外国語活動や市の防災訓練が伊自
良地区で行われることもあり、防災教育についても3校合同で行っていくこ
ととしました。伊自良北小学校は、学校歯科保健推進校で昨年度表彰を受け
ましたが、本年度も続けていきます。伊自良中学校は、市の授業研究実践発
表校となっており、本年10月19日に公表会を行うこととなっております。
伊自良南小学校は、市内の学校にプログラミングの重要性を伝えていくため
のプログラミング教育推進校としているほか、食育の推進校としています。
美山地区も小中連携強化推進校として、3校による外国語活動及び学校運営

協議会を美山中学校校区で行い地域連携等を進めていくこととしています。いわ桜小学校につきましては、昨年度から学校保健・体力向上推進校となっており、本年度も同じように進めていくこととしています。美山中学校は、県の指定ですが英語イノベーション戦略事業指定校として、英語の力がどのようについているかを検証しながら、今後どのようにしていくのかということを進めていきます。美山小学校は、昨年度富岡小学校が全国大会に出場した交通安全子ども自転車大会の指定校として、また、歯科についても、岐阜県1位を目指してがんばっていただきたいと思います。また、特別支援学級が2学級あり、特別支援教育のスペシャリストがいるということで、特別支援教育の推進校としています。高富地区では、富岡小学校は、教頭が教職大学院にいらっしゃるので、カリキュラムマネジメント推進校として進めております。また、ICT加配の事務職員がおりますので、学校スリム化プロジェクト推進校として勤務の適正化、効率化等の推進を行っております。高富小学校は、県の指定であります。岐阜教育事務所の指定研修校として、さまざまな分野で先進的に取り組んでいただいております。それから、梅原小学校、大桑小学校、桜尾小学校は小規模校連携推進校として、例えば社会見学や音楽会などを3校合同で行うなどを進めております。梅原小学校は学社融合推進校として、すぐ近くに公民館がありますので、公民館を利用しながら、学校教育と社会教育が融合するような地域連携を推進していくこととしています。また、学校環境衛生活動推進校として昨年度表彰をいただいておりますので、引き続き進めていきます。大桑小学校は、本年度市指定の授業実践研究の公表会を10月24日に行います。また、梅原小学校と同じく学校環境衛生活動推進校となっています。桜尾小学校は本年度ICTの推進校として、電子黒板等を導入して、その成果を検証することや学校図書館のリブライズシステムを市全体の学校で共有できるよう進めていきます。また、毎年FBCという学校花壇コンクールに参加しておりますので、学校環境美化推進校としています。高富中学校は、学力向上推進校と岐阜教育事務所指定研修校として県の指定を受けていますので、学力向上に取り組んでいます。また、今年度から高富中学校の特別支援教諭が市の助成を受けて岐阜大学の教職大学院特別支援教育コースを履修していますが、そのことを含めて特別

支援教育推進校としています。

このように各校の特色を生かしながら、市の構想も含めて2年後の完全実施に向けて、どの学校も効果を周知、理解して、底上げを図っていきたくて思っております。以上でございます。

生涯学習課長 それでは次のページ以降となりますが、生涯学習課の方から2点説明させていただきます。

まず1点目ですが、今年度から始まりました、山縣市スタディ・ハビットについてですが、放課後子ども教室を各学校で行います。事業の目的としましては、子供たちに学習や文化活動等の多様な体験活動、また、近ごろ希薄化している地域住民との交流の機会を提供するなどして、地域社会の中で子供たちを育てていく環境づくり、学習習慣の定着化を目指すこととしています。各小学校の3学年の子供たちが対象で、参加の希望を取りましたところ、表にありますように全体として57%ほどの参加希望がありました。開設時間は5時限目が終わってから高学年下校時までとしていますので、おおよそ午後4時くらいになるかと思います。また、表には参加希望者の内、放課後児童クラブの利用者の数も記載しております。開催曜日は各学校によって異なりますが、まさに本日の火曜日、高富小学校で第1回目が始まります。

続いて2点目ですが、次のページに、文化ゾーン「山縣市歴史民俗資料館」の活用についてとありますが、これは資料館と学校教育の連携を図っていこうというものです。子供たちが体験を通して学ぶことは大切なことですので、今ある施設を有効に活用し、生涯にわたって学び続ける資質を培っていこうというもので、先ほどもありましたように地域の方との交流の希薄化を補っていこうとするものでもあります。具体的な活用としましては、今まで岐阜市の歴史博物館へ行っていた社会見学を山縣市歴史民俗資料館での実施にできないかとして、試行してみます。また、市内小学校社会科3年の古い道具と昔の暮らしを1月に民俗資料館で開催する予定であります。そのほかに、小学校社会科6年の世界の人々の暮らし、総合的な学習の時間の国際理解を視野に入れまして、今年度試行的に民俗資料館で夏休み期間中に、国立民族学博物館の「みんぱっく」という世界の暮らしのグッズを貸し出してくれる制度を利用して、世界の生活や遊びを紹介する展示を1週間ほど行

ってみたいと思っております。また、その開催期間中に学校の先生にご協力
いただき、社会科研究の相談日もあわせて実施したいと思っております。
以上でございます。

市長 ただいまの事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いいたします。

市長 自転車の大会は、今年は美山小学校ですか。今までは梅原小学校だったように記憶していますが。

教育長 ずっと梅原小学校でしたが、交代していった方がよいだろうということで昨年度は富岡小学校に変わりました。梅原小学校は県で優勝したことがあります。富岡小学校も県で優勝して全国大会に出場しました。それで今年は美山小学校としました。ただ、体育館の大きさが学校によって違ってまして、美山小学校の体育館では、最後の仕上げのコースが設定できないことがわかりまして、その部分は富岡小学校の体育館を借りて使用する予定でおります。

千葉委員 先ほど説明された、リブライズとは何ですか。

学校教育課長 簡単に言いますと、図書館の蔵書管理を行うパソコンのソフトで、子供たちの図書の貸し借りが、バーコードをかざすだけでできます。普通このようなシステムは大きな経費がかかりますが、このリブライズは非常に少ない経費で済みます。検索する時に本の表紙が見えるなど視覚的にも優れていますし、貸出しの履歴もわかるようになっています。

千葉委員 各学校と市内の図書館に導入しているのですか。

学校教育課長 学校の図書室に導入しています。インターネットを介して行うシステムですので、各学校がお互いに検索でき、市内学校図書の蔵書を共有できます。

教育長 さらに桜尾小学校は、これを子供たちだけでなく、PTAの方たちなども利用できるようにしようとしています。利用するためのバーコードの入ったカードを交付することになります。今年1月にシステムを視察した時、市長が会員登録されました。

市長 会員登録の条件は、子供たちに読ませたい本を1冊寄贈するというものでした。

千葉委員 昔のように手書きの図書カードというのではなくってきているのですね。

教育長 貸出し履歴が簡単にできますから、卒業の時に借りた本の表紙を1冊にまとめたものを渡してあげるとかができたらよいと思います。

江崎委員 各学校の指定事業ですが、学校ごとにあれもこれもというやりきれないこともあるかと思いますが、各学校にそれぞれの目標を設定して特化するというのはよい取組だと思います。これによって小中学校の連携とか将来の目指す姿とかが、わかりやすくなるのではないかと思います。それと民俗資料館の活用ですが、地域のことを学ぶのは小学校が中心だと思いますので、このような取組をされるのは、とても素晴らしいと思います。民俗資料館や図書館もそうですが、近くなら子供自身で行くことができるのですが、親が連れて行かないと行けない地域もあり、そのような所で親が連れていけない子は、そこに図書館や資料館があっても行ったことがないということがありますので、学校の方で紹介していただくのは、とてもよいことだと思います。

生涯学習課長 学校との連携は今までも取り組んでまいりましたが、より一層必要となってくると思いますし、子供たちへのきっかけ作りになればよいかと思います。

千葉委員 スタディ・ハビットについてですが、具体的な活動内容と今年度から小学3年生対象ということですが、今後他の学年に拡げていくのかについて教えてくださいいただけますか。

生涯学習課長 小学3年生を対象としましたのは、「9歳の壁」というものがありまして、それによって小学3年生としましたが、今後については、まだ始まったばかりですので、状況をみながら検討していきたいと思います。内容については、コーディネーターの方がみえまして、その方を中心に学習習慣の定着化ということで、いろいろなプリントを準備して、それぞれ個人が自分にあうプリントを選択して取り組むということをしていきます。

教育長 学習習慣を身につけるには、9歳までにやっておかないと、それ以降にやろうと思ってもなかなか大変だということがあり、9歳までにほとんど決まってしまうということがあります。9歳というのが小学3年生ですので、3年生に学習の習慣、学力というよりは学ぶ力をつけさせておきたいということです。それで、教室に学習支援員はいますが、ほとんど教えません。学習習慣の定着化なので、決まった時間、自分で黙々と勉強するということをします。自分でプリントを選んで、自分で丸をつけ、どうしてもわからないと

ころだけ、学習支援員に教えてもらいます。昨年1度試行してみましたが、かなり真剣に取り組んでいました。学校から帰ってきたら自然に机に向かうようになったということができればよいと思っています。

市長 ハビットというのは、どのような意味ですか。

教育長 学習習慣という意味です。

大野委員 時間的にはどれくらいの時間ですか。

教育長 3年生までが5時限授業で、高学年が6時限授業という日がどうしてもできますから、その日を使って行います。高学年が6時限目の授業を受けている時に、参加希望者は残って勉強し、高学年の子たちと一緒に下校するということとなりますから、45分間となります。

千葉委員 安全の面でも、小規模の学校は少人数で下校することがありますから、一緒に帰るとするのはよいことだと思います。

市長 それでは、ほかに、ご意見などございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、ご意見等が無いようですので、以上をもちまして、協議事項を終了いたしました。

これをもちまして、平成30年度山県市総合教育会議を閉会いたします。
ありがとうございました。

(午前9時50分閉会)